

Tokai

広報とうかい お知らせ版
人・自然・文化が響き合うまち

December [No.201]

12・25

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2008年 [平成 20 年]



「東海村研究交流プラザ」で行われた式典でのくす玉割り

坂田東一・文部科学省文部科学審議官(右列・左から1人目)や橋本昌・茨城県知事(左列・左から4人目)、村上達也・東海村村長(右列・左から2人目)、櫻井富夫・茨城県議会議長(左列・左から3人目)、鈴木昇・東海村議会議長(右列・左から3人目)をはじめ、JPARCの建設を平成18年度から共同で進めてきた独立行政法人「日本原子力研究開発機構」(JAEA)の岡崎俊雄・理事長(左列・左から2人目)と大学共同利用機関法人「高エネルギー加速器研究機構」(KEK)の高崎史彦・理事(兼素粒子原子核研究所長)(右列・左から4人目)、JPARCの永宮正治・センター長(左列・左から1人目)の計8人が参加。各施設の利用開始を祝福し、その振興・発展を祈願しました。

「物質・生命科学実験施設」「いばらき量子ビーム研究センター」 「東海村研究交流プラザ」の3施設が利用開始

「大強度陽子加速器施設」(J-PARC)内、「物質・生命科学実験施設」(MLF)の12月23日からの供用開始と併せ、J-PARCの産業利用促進を目的とする茨城県の「いばらき量子ビーム研究センター」と村の「東海村研究交流プラザ」の利用が12月1日から始まったことを記念する「利用開始合同記念式典」が12月16日に執り行われました。MLFは、現在も着々と建設が進むJ-PARCの第一次稼動として、原子力機構敷地内でその中性子利用研究等の運転が始められるもの。一方の研究センターと交流プラザは、J-PARC利用者等の研究交流・情報交換拠点として、国道245号沿いの白方(162番地1)に開設となりました。

Contents [情報満載]

- 平成21年1月からの「医療福祉費受給者証」が変更、平成21年度医療費の全額助成を中学生まで拡大ほか… 2
- “東海”という名は藤田東湖の「正気の歌」から… 3
- まちは「まちなみ」の風景／舟石川・船場の地域祭りほか… 4
- 消防出初式(1/11)と新春マラソン大会(1/12)の開催に伴う交通規制にご協力ください… 5
- いんふおめーしょん／募集、催し物、エトセトラ… 6
- 「2009成人の集い」実行委員からのメッセージ… 10
- ふるさと歴訪(備前)／「月下の宴」(常山文集)… 10